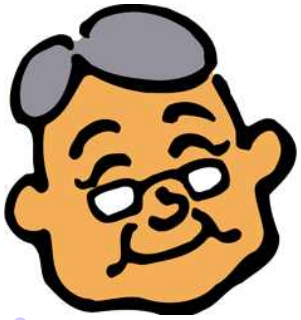
令和５年度 高齢者の交通安全 「あきた弁川柳」入選作品！



県内にお住まいの65歳以上の皆さんに、交通安全意識を高めていただくとともに、耳慣れた秋田弁を活用して広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として、あきた弁を使った川柳を募集しました。

応募作品218句（応募者215人）の中から、入選作品を紹介します。

あきた弁の“味ッコ”をじっくり堪能してたんせ！

最優秀賞

チャリを漕ぐ　ひやみこがねで　ヘルメット
（自転車に乗るなら　面倒くさがらないで　ヘルメットを着けましょう）

秋田市　鈴木　明夫　さん

優秀賞

ばんげなれば　目立づ色着て　きゃどあげよ
（夕暮れは目立つ色の服を着て道路を歩こうよ）

秋田市　長谷部　富子　さん

佳作

うるだぐな　左右みでがら　さぁいぐべぇ
（慌てないで　左右を確認してから　出発です）

能代市　清水　優子　さん

事故でだば　秋田の人口　減らさいね
（事故が理由で秋田の人口を減らしてはならない）

井川町　伊藤　カツ子　さん

見でたもれ　爺婆たすぎ　ピッカピカ
（気を付けて見てね　爺婆のたすきは　反射材でピカピカ光ってるから）

秋田市　金野　笑子　さん

あわかねで　次の青まで　びゃっこ待で
（急がずに次の青信号を待ちましょう（人も車も））

秋田市　木村　紀美　さん

とじえねども　免許返上　あんどした
（今まで乗った車を返すのは寂しいけど安全ライフで安心した!!）

男鹿市　貝塚　厚子　さん

総　評

柴田　政幸

今回は二百十五人（最高年齢九十六歳）の素晴らしい作品に出会いました。「あきた弁」の魅力を醸し出している作品に触れる時間を持てたことに、感謝しています。道路交通法が改正され、四月一日から自転車に乗る全ての人のヘルメット着用が努力義務化されたことを題材にした作品を多く目にしました。交通安全に対する秋田県民の関心の高さを感じます。全体的に分かり易い、リズミカルな句が選ばれたような気がします。

各句の講評

最優秀賞

「チャリを漕ぐ　ひやみこがねで　ヘルメット」

本当に的を射た「あきた弁」の作品です。面倒くさがらないで、きちんと守りましょう。

優秀賞

「ばんげなれば　目立づ色着て　きゃどあげよ」

暗くなってから、外を出歩かないことが良いことですが、存在をアピールすることが、一番大切です。

佳作

「うるだぐな　左右みでがら　さぁいぐべぇ」

ゆとりを持って安全を確かめましょう。

「事故でだば　秋田の人口　減らさいね」

そうです。個々人で、心掛けましょう。

「見でたもれ　爺婆たすぎ　ピッカピカ」

交通安全を心掛けている姿に感心します。

「あわかねで　次の青まで　びゃっこ待で」

少し待つ事が、自分の身を守るのです。

「とじえねども　免許返上　あんどした」

さみしい気持ちが、よく分かります。

令和５年度 交通安全作品コンクール「あきた弁川柳」審査会委員

柴田　政幸　「あきたの文芸」川柳部門選考委員
伊藤　主税　一般社団法人秋田県交通安全協会専務理事
中田　善英　秋田県教育庁生涯学習課長
一関　雄一　秋田県警察本部交通部首席参事官兼交通企画課長
石川　由美子　秋田県生活環境部県民生活課長